



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.07



～工事を進めるための役割分担について～

◆工事を進めるための役割分担

今回は、淡路駅付近連続立体交差事業の工事を進めるための役割分担についてご紹介します。

本事業は、大阪市(事業主体)と阪急電鉄株式会社(施工主体)が協力して事業を進めていますが、工事現場では多数の施工会社が工事を行っています。

事業区間は、下の図のとおり阪急京都線が崇禅寺駅周辺から上新庄駅へ向かう 3.3km、阪急千里線が柴島駅周辺から下新庄駅や神崎川を越えて吹田市までの 3.8km になります。両方合わせると 7.1km もあるため、事業区間を 1～8 工区に分割して工事を行っています。

また、工事現場の施工管理や各種調整は、阪急設計コンサルタント株式会社を中心となって行っています。このように役割分担を行うことで、安全かつ効率的に工事を進めることができます。

今後、工事を進めるにあたり各工区の担当者が、周辺住民の皆さまと直接お話しする機会もあるかと思いますので、その際はよろしくお願ひします。

淡路駅付近連続立体交差事業の全体平面図



事業主体:大阪市

施工主体:阪急電鉄株式会社

施工管理:阪急設計コンサルタント株式会社

施工会社:

1 工区 西松建設・佐藤工業・鉄建建設JV

2 工区 奥村組・銭高組・熊谷組JV

3 工区 大林組・ハンシン建設JV

4 工区 鹿島建設・戸田建設JV

5 工区 森組・清水建設・フジタJV

6 工区 鴻池組・竹中土木・青木あすなろ建設JV

7 工区 大成建設・間組JV

8 工区 飛島建設・前田建設工業・浅沼組JV

(JVとは複数の企業で工事を行う共同企業体のこと)

■ 事業区間

■ 側道整備区間(別途街路事業)

■ 淡路土地区画整理事業範囲

①～⑰ 本事業により除却される踏切



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.07



～出前講座・現場見学会のアンケート結果～

◆出前講座・現場見学会(アンケート結果)

前回ご紹介しました、豊新小学校の3年生児童を対象とした出前講座・現場見学会に関して、参加した児童へ右のアンケートにご協力いただき、このほど結果が出ましたのでご紹介します。

出前講座と現場見学会は、事業に対する関心を高めることや、淡路駅付近で行われているまちづくりへの理解、踏切の正しい横断方法など安全啓発を目的として行いました。

その結果、およそ9割の児童が、【問3】で『まちづくり』や『みちづくり』について『もっと知りたい』と答え、事業やまちづくりに対しての関心を促したのではないかと考えております。

また、【問4】の結果から、事業の目的や効果などについての正しい理解を促進できたものと考えています。

今後も、沿線の小学校を対象に継続して取り組みを進めていきたいと考えています。

現場見学会の様子



平成 24 年 11 月 2 日

社会見学アンケート

今日は、見学に参加してくれてありがとうございました。みなさんが感じたことなどについて、アンケートに教えてください。
「これだ!」と思うものばんごうをえらんで、数字を○でかこんでください。

【1】性別をおしえてください。 1. 男の子 2. 女の子

【2】せつめいは、わかりやすかったですか。
(ア)じゆぎょうについて 1. よくわかった 2. ふつう 3. わからなかった
(イ)見学について 1. よくわかった 2. ふつう 3. わからなかった

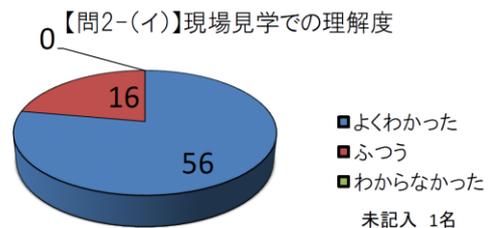
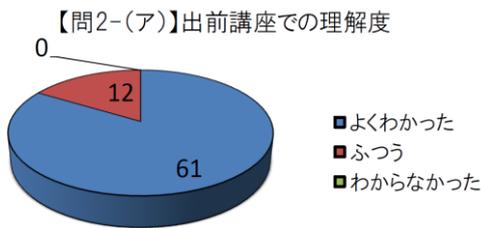
【3】「まちづくり」や「みちづくり」についてもっと知りたいと思いましたが、
1. もっと知りたい 2. そう思わない

【4】今日の話をきいて、はじめて知ったことや、心にこったことは、なんですか。
(いくつえらんでもかまいません)

1. 大阪市役所が、「まちづくり」のしごとをしているということ
2. 広いみちがあれば、きゆうきゆう車やしょうぼう車が、早くきてくれるので安全になるということ
3. ふみきりを正しくわたらないとあぶないということ
4. 「まちづくり」のとちゆうでは工事の車がおおくなるので気をつけなければならないということ
5. 「ふみきり」をなくすために、電車の工事を行っているということ
6. あわじえきのちかくの「まちづくり」が終わると、たくさんの「ふみきり」がなくなり、みちが広くなって、安全でステキなまちになるということ
7. 「まちづくり」がおわると、はんきゆう電車が2かいだいでになり、たいい場所を走るようになるとのこと

答えてくれてありがとうございました。

豊新小学校アンケート結果



アンケート対象=73人

